

## 記者発表資料

平成29年2月22日  
矢作川流域圏懇談会事務局  
国土交通省豊橋河川事務所

**流域は一つ、山・川・海、調和のとれた  
矢作川流域圏の発展を目指し、様々な活動を展開**

～矢作川流域圏懇談会 第6回全体会議を開催します～

## 1. 概要

矢作川流域圏懇談会は7年目を迎え、山・川・海の参加者が主体となり多くの課題解決に向けた活動を展開しています。

山部会では、矢作川の山の課題を「人と地域の問題」と「森の問題」の2点に絞り、4つのテーマ（・山村再生担い手づくり事例集・山村ミーティング・森づくりガイドライン・木づかいガイドライン）について検討、実行を行っています。

川部会では、「生き物の棲みやすい川づくり（上下流問題）」と「地先の課題」を課題とし、本川モデル、支川（家下川）モデル、地先モデルを選定し検討、実行を行っています。

海部会では、「ごみ・流木の問題」「豊かな海の生物調査」「海と人の絆再生」「干潟・ヨシ原再生」の課題について、検討、実行を行っています。

今回の全体会議では、各部会の平成28年度のとりくみの報告と今後の方針の決定を行います。

2. 日時：平成29年2月24日（金）14時00分～16時00分  
開場は、13時30分から

3. 場所：安城市民会館 3F大会議室  
住所：安城市桜町18番28号  
電話：0566-75-1151  
（JR安城駅 南口から徒歩10分、安城市役所の南隣）  
駐車場は、市役所、文化センターなどの各施設と共用になります。  
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

## 4. 添付資料

- ・矢作川流域圏懇談会パンフレット
- ・山部会、川部会、海部会の活動進捗報告
- ・傍聴申込用紙

## 5. 事前申込み

傍聴には事前の申込みをお願いします。事前申込み書に氏名、住所、所属等、連絡先を記入し、事務局へ送信してください。

事務局 FAX：(0532) 48-8100

E-mail：uno-t85aa@mlit.go.jp

## 6. 配布先

豊田市政記者クラブ、豊田市政記者東クラブ  
岡崎市政記者会、岡崎新聞記者会  
恵那記者会、岐阜県庁県政記者クラブ、飯田市記者クラブ

## 7. 問い合わせ先

事務局：国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 大森正昭

電話：(0532)48-8107 FAX：(0532)48-8100

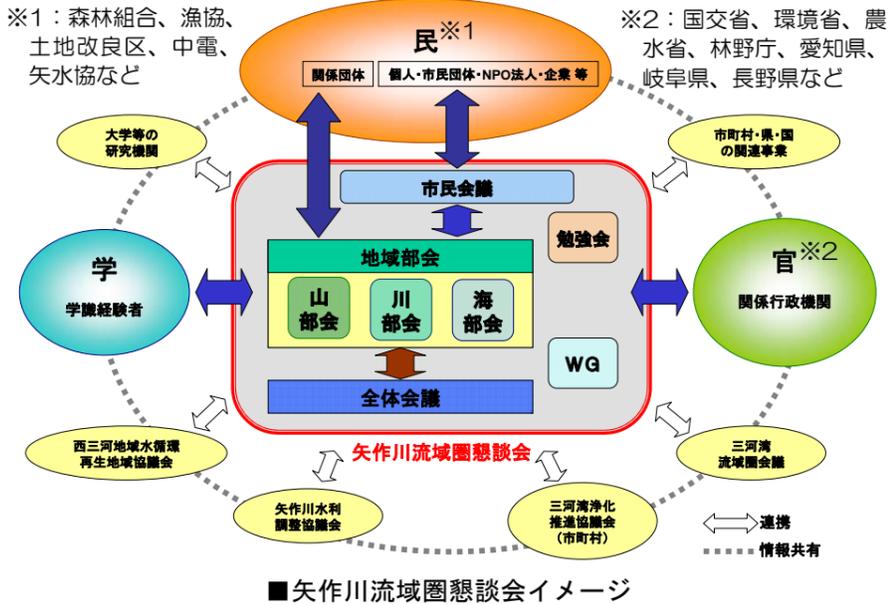
# 水と人がつなぐ山・川・海 皆で取り組む流域一体の川づくり



国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所 矢作川流域圏懇談会

## ■矢作川流域圏懇談会とは

- ◆目的：河川整備計画に基づき、河川管理者だけでは解決できない課題に対し流域一体となって取り組み、互いに連携し、いい川づくりと調和のとれた流域圏全体の発展につなげる。
- ◆メンバー：個人・市民団体、関係団体、学識経験者、国・県・市町村など100名以上
- ◆活動内容：市民が中心となり、矢作川を学び、意見交換を行うことを通じて、流域圏の課題を自分たちで提案し、その解決に向けた、流域圏一体の取り組みを行っている。



■矢作川流域圏懇談会イメージ



■活動範囲

## ■市民が中心となって、流域圏の課題に取り組み、悩んでいます

- 【全体】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・市民企画会議（WG）
  - ・市民会議
  - ・市民提案による勉強会（森の健診、生き物調査、河川事業の勉強など）
  - ・全体会議

各部会での活動の情報交換や流域圏一体化に向けた議論、市民提案による勉強会等の活動を行っている。



- 【山部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・山村再生担い手づくり事例集の作成
  - ・矢作川流域山村ミーティング
  - ・森づくり、木づかいガイドラインの検討

検討テーマである「人と地域の問題」、「森の問題」を解決するため、事例集、ガイドライン作成に向けて活動している。



- 【川部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・矢作川の瀬・淵調査と保全・創出方法の検討
  - ・家下川（支川）の段差解消・水源確保の検討
  - ・川の活動情報の共有
  - ・河川事業のチェック

「魚の棲みやすい川づくり（上下流問題）」「地先の課題」をテーマに、モデル地区での検討を進めている。



- 【海部会】**
- 〈これまでの主な活動〉
- ・ごみ・流木調査
  - ・干潟生き物調査
  - ・三河湾内水質調査
  - ・海へのアクセス調査

「親しみやすい豊かな海」の実現を目標に、ごみ・流木問題、絆再生、干潟・ヨシ原再生をテーマに活動している。



## ■活動のポイント

### 〈活動や事業の発想・視点の先進性やユニークさ〉

川づくりの源である山、川づくりを写す海を加え、川づくりを流域圏という単位で進め、それぞれの地域で川に係る多くの市民、企業、学識者、行政が連携・協働して河川管理者だけでは“絶対”解決出来ない多様な課題への取り組みや情報共有・意見交換を山・川・海部会が毎月2回以上のペースで進めています。



### 〈工夫した計画手法や技術〉

- ・河川工事の実施に際して、魚、鳥などの生物、植物など詳しい市民、専門家などとともに現地調査・意見交換を行いながらより良い川づくりを行いました。
- ・ごみ・流木調査や流域圏として統一性のある森林管理、矢作川の恵みが中下流や海まで行き届く取り組みを進めています。
- ・2年目から、市民企画会議を新設し、市民主導の運営となりました。



着手前



竣工時



# 矢作川流域圏懇談会の活動進捗

# 1. 山部会 平成 28 年度の活動成果 まとめ

## 山村再生担い手づくり事例集

### 【①進捗】

- ・「その後いかがお過ごしですか?」プロジェクトとして、平成 25 年度にヒアリングを行った 21 団体を再訪し、レポート集を作成した。

### 【②進捗】

- ・山村再生担い手づくり事例集の交流会を平成 29 年 4 月 15 日 (土) ~16 日 (日) に根羽村で実施することになった。

### 【③進捗】

- ・事例集交流会に参加するメンバーの募集と具体的な交流方法について検討を行った。

### 【④進捗】

- ・山村ミーティングや木づかいガイドラインとの連携を検討した (例えば、交流会で 9 月に行う矢作川感謝祭への参加を呼び掛けるなど)。



事例集に関する話し合いの様子



取材の様子

## 山村ミーティング

### 【①進捗】

- ・流域の森林組合の現状を把握するため、根羽村森林組合、恵南森林組合、豊田森林組合、岡崎森林組合の現場作業員約 100 名に対するヒアリングを開始した。

### 【②進捗】

- ・矢作川感謝祭 (仮称) については、秋の流域全体の恒例行事化にむけて実行委員会を立ち上げ、意見交換が開始された。

### 【③進捗】

- ・足助もみじ市まつりに代わるイベントの開催については、懇談会メンバーも主催者に加わるよう関係団体 (豊田森林組合など) に働きかけた。



山村ミーティングに関する意見交換の様子



平成 28 年度の矢作川感謝祭の様子

## 森づくりガイドライン

### 【①進捗】

- ・豊田市の森づくり構想（4事業：森づくり構想リニューアルプロジェクト、森林GIS管理費、モニタリング調査費、水源かん養機能モニタリング調査費）に関する意見交換を行った。



森づくりに関する意見交換の様子

### 【②進捗】

- ・国の水循環基本法（H26.7.1施行）に関して、先進的な流域マネジメントに関するモデル調査実施団体として、内閣官房から選定された岡崎市の取組みについて、情報共有と意見交換を行った。



フィールドワークの状況

### 【③進捗】

- ・森づくりガイドラインの策定に向けて、主な項目に関する情報共有と意見交換を行った。

### 【④進捗】

- ・矢作川流域圏における2005年度以降の間伐面積の推移について情報共有を行い、各地域の実状について意見交換を行った。



木づかいに関する意見交換の様子

### 【⑤進捗】

- ・森づくりに関するフィールドワークを行った（例えば、根羽村小戸名地区の災害現場、神奈川県山北町の森づくり事例）。

## 木づかいガイドライン

### 【①進捗】

- ・木づかいガイドライン策定に向けて、「さあ～しよう」という提案型の原稿作成のための依頼書について、情報共有を行った。

### 【②進捗】

- ・根羽村森林組合では、木づかいに関するイベントを年間30箇所以上開催した。特に、7月16日に恵那市で開催された「奥矢作森林フェスティバル」では、東幡豆漁協とともに矢作川流域圏懇談会をPRすることができた。



奥矢作森林フェスティバルの実施状況

### 【③進捗】

- ・全体会議（2月24日）では、参加者に「流域ものさし」を配布し、目的と効果を周知する（例えば、私の流域物語など）。



流域ものさし（試作品）

## 2. 川部会平成 28 年度の活動成果 まとめ

本川モデルの課題	家下川モデルの課題	地先モデルの課題
ポイント①：生き物の移動阻害	ポイント①：情報不足	ポイント①：河川空間の利用
ポイント②：河床のアーマーコート化	ポイント②：生き物の移動阻害	ポイント②：河川空間の保全
ポイント③：川の微地形の多様性消失	ポイント③：生き物の棲みかの不足	
ポイント④：在来種の減少	ポイント④：水量不足	
ポイント⑤：外来種対策		

### 本川モデル

#### 【①進捗】

・加茂川水門下流において堰上げ式の魚道を整備中であり、水面落差は 65cm から 30~40cm 程度まで減少できた（最終目標は 20cm 程度）。第 1 回施工後に WG において現地確認と意見交換を実施した。

#### 【②進捗】

・矢作川総合土砂管理における給砂実験の概要について情報共有を行った。

#### 【③進捗】

・大同大学の学生により、白浜工区のモニタリングが実施された。

- 1) 地形と土砂の変化
- 2) 低水敷の植生と物理条件との関係
- 3) 水質・湧水・植生・動物相の把握

・加茂川合流点から高橋上流までの現地踏査を実施し、懇談会発足当初から現在までの瀬・淵や河道状況の変遷を確認し、意見交換した。高橋上流における瀬への石組埋設の試験施工に関する情報を共有した。

・豊田市矢作川河川環境活性化プラン検討委員会の検討結果について報告をうけ、矢作川の今後の整備における意見交換を行った。



堰上げ式魚道施工状況



河道変遷状況・竹林伐開状況の確認

### 家下川モデル

#### 【①③進捗】

・愛知県豊田加茂農林水産事務所との意見交換により、家下川に生育する生き物に配慮した改修工事計画となっていることを確認した。掘削後の河床形状やかいぼり等について意見交換を継続する合意を得た。

#### 【②進捗】

・承水溝周辺の段差箇所を現地で確認し、意見交換を行った。

#### 【①④進捗】

・ひょうたん池周辺の現地状況を確認し、水量確保や外来種の繁殖状況等について意見交換した。



家下川湛水防除事業設計内容の現地確認

### 地先モデル

#### 【①②進捗】

・矢作川沿いの全市町村を対象として、広域サイクリングロード計画に関する意向を確認した。  
 ・豊田市、岡崎市に現在整備済みのサイクリングロードの状況について説明いただき、今後の広域展開及びサイクリングロードの活用を見据えた意見交換を行った。

### 3. 海部会 平成 28 年度の活動成果 まとめ

#### ごみ・流木の問題

- ごみ・川ごみ問題について全国的な活動を実施している一般社団法人 JEAN および全国川ごみネットワークから、ごみ問題に関する最新の知見について情報共有を行った。
- ごみ問題の解決策を検討するモデル河川の候補として矢作川が挙げられており、今後行動プログラムの立案などモデル河川となった場合のとりくみ要請があった。
- 愛知県が取り組むごみ学習プログラムの内容について情報共有を行った



北太平洋ミッドウェイ環礁のコアホドリ  
プラスチックごみによる生物被害  
(一般社団法人 JEAN)

河口部への堆積  
他地域、他国の海岸への漂着  
(NPO 法人リーディングオフィス)

プラスチックごみ問題の提供資料



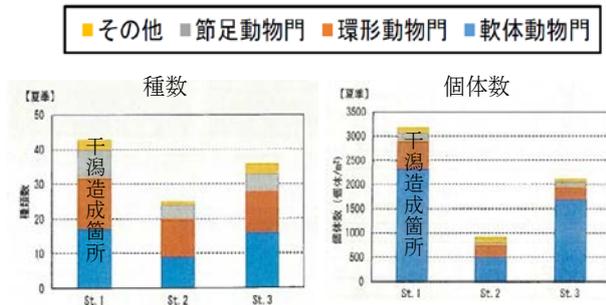
カードゲーム形式のごみ学習教材

#### 豊かな海の生物調査

- 東幡豆の干潟造成箇所での現地視察を行った。
- 干潟造成箇所のモニタリング調査結果の中間報告について情報共有を行った。
- その結果、アサリをはじめ生物の生息環境として良好な状態が維持されていることが分かった。



東幡豆干潟造成箇所の現地視察



東幡豆干潟造成箇所および既存干潟における底生動物の生息状況の違い

### 海と人の絆再生

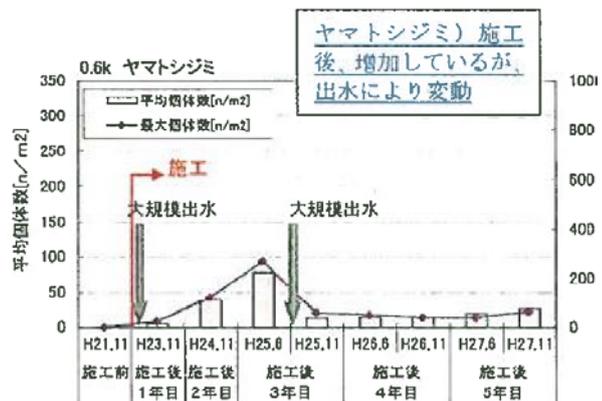
- ・岐阜県恵那市串原町で開催された奥矢作森林フェスティバルに参加し、矢作川流域圏懇談会の海部会、山部会のブースを出展した。
- ・多くの家族や子供たちが、海の生きものに大変興味を持って接していた。



奥矢作森林フェスティバルでのブース出展状況

### 干潟・ヨシ原再生

- ・矢作河口部の干潟・ヨシ原再生箇所での整備効果について情報共有を行った。



矢作川河口干潟でのヤマトシジミ生息状況

- ・愛知県水産試験場が西浦沖で取り組んでいるダム堆積砂を利用した干潟造成 (H27 施工) に関する試験区での調査結果について情報共有を行った。



西浦地区でのダム砂投入試験区の状況

- ・矢作川の総合土砂管理対策の一環として矢作ダム下流で実施された給砂実験の内容について情報共有を行った。

矢作川流域圏懇談会事務局（国土交通省 豊橋河川事務所） 行  
〔所在地〕 〒441-8149 豊橋市中野町字平西 1-6  
〔TEL〕 0532-48-8107 〔FAX〕 0532-48-8100 〔E-mail〕 uno-t85aa@mlit.go.jp

## 矢作川流域圏懇談会 第6回全体会議(H29.2.24)

### 傍聴申込用紙

ご住所	〒 ー
所属等	
ふりがな 氏 名	
TEL	
FAX	
E-MAIL	

※申込みの際にお送りいただいた個人情報は、本募集の目的以外には使用致しません。また、個人情報は厳重に管理し、流出等のないように管理致します。